



裏磐梯だより

No. 96

2019年5月



▲ 桧原湖畔探勝路から望む桧原湖と磐梯山

ビジターセンター周辺ではすっかり雪が無くなり、花が咲いたり、木々が芽吹いてきたりし、ようやく春の訪れを実感することができるようになりました。

さて、写真の桧原湖は、明治の磐梯山の噴火によってできた300余りの湖沼の中で1番大きな湖です。南北に細長い形をしており最大水深は約31m、湖岸線は複雑に入り組み長瀬川の上流である桧原川などの河川をせき止めてできた湖です。湖底には昔の桧原村などの集落が沈んでおり、湖岸や水中には昔の森の跡の枯れ木や根株などを見られる場所もあります。現在の桧原湖の姿は噴火後一瞬でできたわけではなく、噴火から約2年をかけて形成されたと言われています。

桧原湖の周りには、桧原湖を取り巻く道路や歩きやすい湖岸沿いの探勝路があり、そこから見る景色は季節により様々な表情を見せてくれます。これからの季節に普段と違う視点から湖や山々の姿を眺めてみませんか。